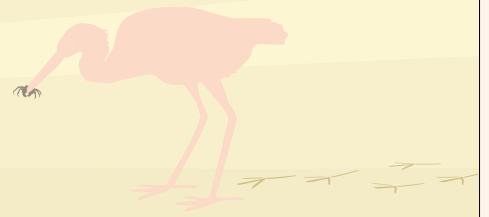


なぎ NEWS さ



生き物の痕跡を追え！ - あそこにも、ここにも穴！穴？穴！ -

夏がやってきました！海に行くにはベストシーズンです。海岸で生き物を捕まえたいという方も多いのではないのでしょうか。でも、生き物は警戒心が強く、簡単には見つかりません。まずは生き物たちの痕跡を探してみましょう。例えば、「穴」。生き物たちの巣穴です。生き物によって巣穴をつくる場所やつくりには違いがあります。今回は「西なぎさ」で見られる生き物たちの巣穴を紹介します。

【穴の周りに砂団子？】

? 砂地には無数の穴があります。よく見ると、穴の近くに砂のお団子がたくさん落ちていているところがあります。これは何の巣穴でしょう？

💡 コメツキガニの巣穴です。コメツキガニは大きき1～2cmほどの小さなカニです。巣穴の周りの小さい砂団子は巣穴を掘った跡ではなく、食事の跡。コメツキガニは砂の表面についている小さな藻類を食べます。砂ごととって食べますが、砂はお団子状にして残します。



【泥地に掘られた斜めの穴！】

? 泥地では、斜めに掘られた穴が多数観察されます。これは何の巣穴でしょう？

💡 ヤマトオサガニの巣穴です。ヤマトオサガニは甲が横に長く、長方形の体のつくりをしています。その長い体をいかして斜めに掘り進めていきます。もし、この巣穴で姿が見られなかったら、近くの小さな潮だまりを探してみましょう。長い眼だけを水面から出してこちらの様子をうかがっているかもしれません。



【きれいに整った小さな水滴形の穴！】

? 砂地の波打ち際に近いところに行くと、しずく形の穴が見られることがあります。これは何の巣穴でしょう？

💡 細長い体をした二枚貝のマテガイの巣穴です。このような巣穴を見つけたら塩をふりかけてみて下さい。30秒くらいするとニョキッとマテガイが出てくるはず。出てきたら殻の部分をしっかりと持って引き抜くようにしましょう。



巣穴以外にも「西なぎさ」にはいろいろな生き物の痕跡があります。例えば、海鳥がエサを探して歩いた足跡。アカエイが砂を掘って、貝などを食べたあとのすり鉢状の穴。当たり前のように思われるかもしれませんが、貝殻だってそこにその貝がくらしていたという痕跡です。このような痕跡探しが生き物観察を行うための第一歩なのです。

(教育普及係 西村 大樹)

なぎ さ 生き物ミニ情報

水族園では葛西海浜公園の「西なぎさ」で、さまざまな調査を行っています。今回は、5月から7月にかけて行った地曳網調査と生き物調査の結果をまとめて報告します。

5月生き物調査：水温24.4℃、気温25.9℃。コメツキガニの繁殖行動が活発でした。潮だまりではマメコブシガニが10匹以上観察されました。

6月地曳網調査：水温25.0℃、気温26.5℃。ヒモハゼ、エドハゼ、シログチの稚魚のほか、トラフグの幼魚がとくに目立ちました。2014年から網に入り始め、昨年13尾から今年は89尾と増加しました。

7月生き物調査：水温22.5℃、気温20.5℃。コメツキガニの摂餌行動がよく観察できました。潮だまりでは、さまざまなサイズのマハゼやエドハゼが観察できました。また、ミズクラゲが多数漂着していました。